

登録コード	L1430600	開講年度	2026				
担当教員	加藤 善子			副担当			
授業科目	社会学特論						
英文授業名	Sociology: Lecture						
授業タイトル	教育の歴史社会学						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限
講義室	人文212講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー				教育の歴史社会学の枠組みを使って、教育現象や教育問題を分析し、説明することができる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				近代という歴史枠組みを理解し、日本の学校制度や教育史に関する十分な知識を身につけている。		
	【2023年度以降対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				教育の歴史社会学の枠組みを使って、教育現象や教育問題を分析し、説明することができる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業では、近代日本における具体的な教育現象や学生文化の学習を通して、社会問題や社会のしくみを近代という広い枠組みの中で分析する方法を学ぶ。 毎週の授業では、教育現象を把握するための方法を学習し、応用するという練習を繰り返す。毎週の講義を受けた後に、内容を分析する練習問題に取り組み、基本的概念の確認テストを受ける。講義と練習問題に取り組み、訓練を続ければ、感情的な反応や短絡的な見方に左右されない確固とした理論的考察力が身につくはずである。 【本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。】						
授業計画	* 授業内容・順番は変更することがあります。 第1回（9/29）近代と学校：教育の歴史社会学・教育史・教育社会史 第1部：学校制度の黎明期（～明治30年代） 第2回（10/6）学校空間における管理 近代的な身体形成 儀式・制服・運動会 第3回（10/13）学校空間における管理 競争原理の導入と身分制度の打破 第4回（10/20）入試の歴史 入学試験と資格試験／勉強場所「図書館」の誕生 第2部：学校制度の成立期（明治40年代～昭和初期） 第5回（10/27）教育と社会移動 誰が学校を利用したか 第6回（11/10）教育と社会移動 学校間格差の誕生 【11月11日 記述課題 提出】 第7回（11/17）入試の歴史 入試制度から見える能力観／「お受験」の誕生 第8回（11/24）学校文化と学生文化 煩悶青年の誕生 第9回（12/1）学校文化と学生文化 学生がけん引した文化・趣味 第3部：学校教育の普及期（大正後期～戦時期） 第10回（12/8）学校文化と学生文化 女学生の文化 第11回（12/15）学校文化と学生文化 恋愛と結婚／性と身体 第12回（12/22）学校文化と学生文化 女学生の立志・職業婦人の誕生【12月23日記述課題 提出】 第13回（1/5）学校文化と学生文化 修学旅行と甲子園／鉄道が変えた旅行 第14回（1/12）社会問題はどのように構築されるようになったのか／「子ども」「未成年」の発見 第15回（1/19）近代日本における家族・学校・子ども／授業アンケート／閉講						
成績評価の方法	* 成績は、学生自身の行動と努力の結果である。何をしたら何点かがすべて記されているので、60点以上（あるいは自分が取りたい成績）になるように、記録を取り、成績を管理しなさい。学期終了後の救済措置はない。 * 出席点は計上しないが、6回以上の欠席で失格となる。 ・ オンラインになった場合は、小テスト6回未受験で失格となる。 ・ 出席システム登録忘れも欠席として扱う。 ・ 出席していても居眠りや私語などをしている場合、注意しなくとも減点することがある。 * 記述課題30点（15点×2回）：初回分のみ教員との面談を経て書き直し可能。 * 復習小テスト70点（4点あるいは5点×15回）：水曜日9時から金曜日正午の間に取り組む。 合計100点。60点以上が合格、60点未満は不合格。						
成績評価の基準	【卓越している（90点以上）】専門用語や概念を理解しており、それらを使って個別具体的な教育現象を						

成績評価の基準	正確に説明できるだけでなく、それらを応用してさらなる分析や問題提起ができる。 【かなり上にある（80点以上）】専門用語や概念を理解しており、それらを使って個別具体的な教育現象を正確に説明できる。 【やや上にある（70点以上）】基本的な専門用語や概念を知っており、それらを使って個別具体的な教育現象をひととおり説明できる。 【その水準にある（60点以上）】基本的な専門用語や概念を知っており、教育現象を説明するのにどの用語や概念がふさわしいかが判別できる。
事前事後学習の内容	* 授業を受けた後、1時間程度をかけて復習し、確認テストを受ける。 * テストは、講義終了後、水曜日9時から金曜日正午の間に取り組む。 * 初回のレポートについては書き直しが可能であるので、教員との面談を経て取り組むこと。 * 本講義1コマにつき、2コマ分の授業外学習が必要である。上の学習に自主的に取り組むこと。
履修上の注意	課題等の締切は上に記してあるので、予定に入れ込み、確実に学習を進めなさい。 小テストの受け忘れやレポートの出し忘れに対する救済措置はない。 単位が必要な学生は、10月中にその旨を担当教員に伝え、学習について事前に相談しなさい。
質問、相談への対応	オフィスアワー：開講時に指示する。 会議等で不在にする場合もあるため、メール等で事前に確認をとるのが望ましい。 メールアドレス：katoy@shinshu-u.ac.jp 研究室：全学教育センター4階南
教科書	指定しない。
参考書	天野郁夫編『学歴主義の社会史』有信堂，1991. 石岡学『「教育」としての職業指導の成立』勁草書房，2011. 石岡学『100年前の「入試改革」』勁草書房，2025. 伊藤達也『苦学と立身と図書館』青弓社，2020. 稲垣恭子『女学校と女学生—教養・たしなみ・モダン文化』中公新書，2007. 井上義和『日本主義と東京大学—昭和期学生思想運動の系譜』柏書房，2008. 井上義和『降旗元太郎の理想—名望家政治から大衆政治へ』創元社，2023. 大澤絢子『「修養」の日本近代 自分磨きの150年をたどる』NHK出版，2022. 河野誠哉『個性幻想：教育的価値の歴史社会学』筑摩書房，2024. 菊池城司『近代日本の教育機会と社会階層』東京大学出版会，2003. 木村涼子『＜主婦＞の誕生—婦人雑誌と女性たちの近代』吉川弘文館，2010. 小針誠『＜お受験＞の社会史』世織書房，2009. 小山静子『良妻賢母という規範 新装改訂版（紙版）』勁草書房，2022. 小山静子『高等女学校と女性の近代』勁草書房，2023. 斉藤利彦『試験と競争の学校史』講談社学術文庫，2011. 貞包英之・元森絵里子・野上元『自殺の歴史社会学』青弓社，2016. 佐藤（粒来）香『社会移動の歴史社会学』東洋館出版社，2004. 佐藤卓己・井上義和編著『ラーニング・アロン 通信教育のメディア学』新曜社，2008. 佐藤卓己『『図書』のメディア史—「教養主義」の広報戦略』岩波書店，2015. 佐藤八寿子『ミッション・スクール』中公新書 渋谷知美『立身出世と下半身—男子学生の性的身体管理の歴史』洛北出版，2013. 柴野昌山『しつけの社会学—社会化と社会統制』世界思想社，1989. 菅原亮芳『近代日本における学校選択情報 - 雑誌メディアは何を伝えたか』学文社，2013. 菅原亮芳編『受験・進学・学校—近代日本教育雑誌にみる情報の研究』学文社，2008. 寒川恒夫『近代日本を創った身体』大修館書店，2017. 高橋裕子『津田梅子の社会史』玉川大学出版部，2002. 高田理恵子『文学部をめぐる病 教養主義・ナチス・旧制高校』松籟社，2001. 武石典史『近代東京の私立中学校—上京と立身出世の社会史』ミネルヴァ書房，2012. 竹内洋『立志・苦学・出世—受験生の社会史』講談社学術文庫，1991. 竹内洋・佐藤卓己編著『日本主義的教養の時代』柏書房，2006. 田中亜以子『男たち/女たちの恋愛 近代日本の「自己」とジェンダー』勁草書房，2019. 中村牧子『著名人輩出の地域差と中等教育機会』関西学院大学出版会，2018. 難波知子『学校制服の文化史—日本近代における女子生徒服装の変遷—』 ノッター，デビッド『純潔の近代—近代家族と親密性の比較社会学』慶應義塾大学出版会，2007. 橋本萌『「伊勢参宮旅行」と「帝都」の子どもたち』六花出版，2020. 濱貴子『職業婦人の歴史社会学』晃洋書房，2022. 速水融編著『近代移行期の家族と歴史』ミネルヴァ書房，2002. 土方苑子『近代日本の学校と地域社会—村の子どもはどう生きたか—』東京大学出版会，1994. 土方苑子『東京の近代小学校 「国民」教育制度の成立過程』東京大学出版会，2002. 平井晶子『日本の家族とライフコース—「家」生成の歴史社会学—』ミネルヴァ書房，2008. 広田照幸『日本人のしつけは衰退したか—「教育する家族」のゆくえ』講談社現代新書，1999. 松井健人『大正教養主義の成立と末路』晃洋書房，2025. 元森絵里子『語られない「子ども」の近代：年少者保護制度の歴史社会学』勁草書房，2014. 山下恒夫『近代のまなざし—写真・指紋法・知能テストの発明』現代書館，2012. 山内乾史『文芸エリートの研究』有精堂出版，1995. 柳田男『＜学級＞の歴史学—自明視された空間を疑う』講談社選書メチエ，2005. 吉田文・広田照幸編『職業と選抜の歴史社会学—国鉄と社会諸階層』世織書房，2004. 吉野剛弘『近代日本における「受験」の成立』ミネルヴァ書房，2019. ローデン，トーマス T.『友の憂いに吾は泣く—旧制高等学校物語』上下，講談社，1983

参考書	ほか、適宜紹介する。
-----	------------